

木崎地域実行計画

【背景】

木崎中学校区では、児童数の減少に伴い小規模校となっていた笹山小学校と木崎小学校の統合を契機として、笹山小学校跡地の活用を含めた、木崎中学校区の公共施設のあり方についての実行計画の検討に着手し、令和2年1月から12月までの全3回開催しましたワークショップなどで得られた成果をもとに、実行計画を策定しました。

【再編の実施時期】

旧笹山小学校は長期間利用されないことがないよう、導入を検討する機能案に基づき、民間活用のサウンディング調査※1及び跡地活用の公募を実施します。また、横井の丘ふるさと資料館についても、木崎保育園利用者の安全性確保のために速やかな収蔵資料の移転を行い、解体を実施します。また、今後の詳細検討や財政状況により、再編時期や内容については適宜見直しを行います。

公共施設の再編計画

【コンセプト】 民間活力による学校跡地の利活用及び既存施設の有効活用

【施設の概要】	【効果】
▷旧笹山小学校は民間による活用 活手法については調査及び公募による	▶未使用施設の有効活用による地域活性化
▷横井の丘ふるさと資料館は、耐震性能が不足しているため、収蔵資料移転後に解体	▶木崎保育園利用者などの安全性の確保 収蔵資料の適切な管理の実施
▷木崎小学校、木崎中学校、木崎コミュニティセンター、木崎保育園、木崎保育園子育て支援センター、木崎ひまわりクラブは存続とする	▶適切な維持管理を行いサービス機能を維持 ▶木崎小学校・木崎中学校は学校開放によるスポーツ機能の確保 ▶木崎保育園子育て支援センターは未就学児を対象とした利用・活用の場を確保

※旧木崎ひまわりクラブについては、耐震性能が不足しているため、解体

旧笹山小学校 導入を検討する機能案 優先順位※2

機能案検討優先順	導入を検討する機能案・方策	
① 民間活用による多目的活用	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内の多世代が立ち寄れる機能 ・地域内外からの集客性がある機能 ・上記機能を満たす複合施設の経営知識をもつ民間企業の誘致 	【個別検討事項】 ・スポーツ拠点として体育館などの一部を市民が利用できる機能 （上記機能の導入を前提とした民間活用の意向を確認し、採否を判断）
② 産業振興に特化した民間活用	<ul style="list-style-type: none"> ・市民に開かれた産業振興施設としての機能 ・地元雇用の創出に寄与できる民間企業の誘致 	
①②共通事項	一時的な避難場所としての機能	

※1 サウンディング調査：公有地等の活用検討において、民間事業者から土地活用方法について、事前に意見や提案を聞くことにより、土地の市場性や活用条件等を把握する手法
 ※2 「導入を検討する機能案」に基づき、サウンディング調査及び跡地活用の公募を実施した結果、民間参入の意向がないことが確認できた場合、活用に係る条件設定を行わずに、現状有姿での一般競争入札による売却を実施していきます。

再編を実施する施設の方針及びスケジュール

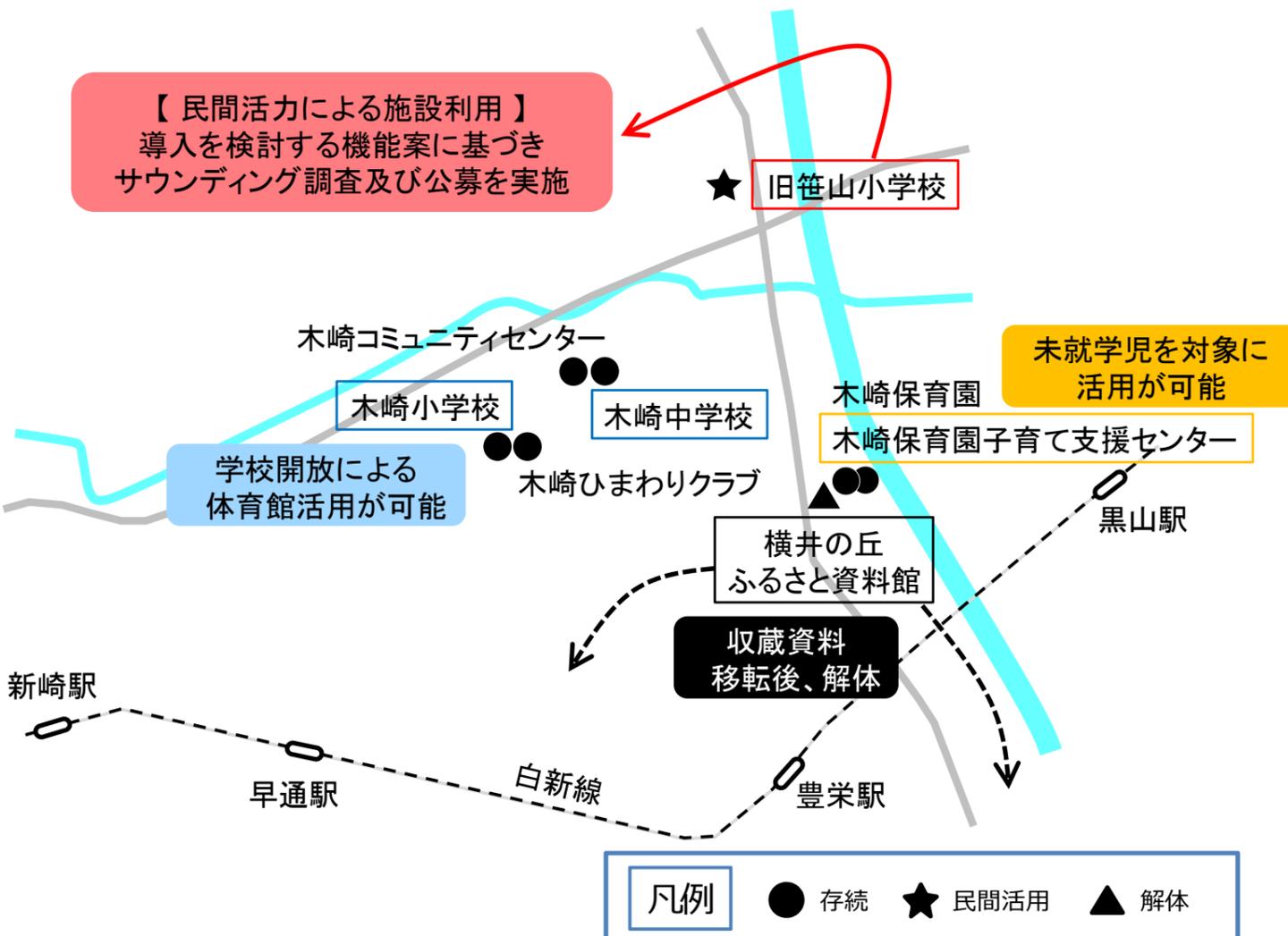
施設名	方針	年度		
		2021	2022	2023
旧笹山小学校	民間活用	サウンディング調査	跡地活用公募	供用開始
横井の丘ふるさと資料館	解体	資料移転	解体	

その他の施設の方針

木崎小学校	存続	学校開放による体育館活用（スポーツ機能の確保）が可能
木崎中学校	存続	学校開放による体育館活用（スポーツ機能の確保）が可能
木崎ひまわりクラブ	存続	旧ひまわりクラブについては、耐震性能が不足するため解体
木崎保育園	存続	存続
木崎保育園子育て支援センター	存続	未就学児を対象に活用（子育て支援機能の確保）が可能
木崎コミュニティセンター	存続	存続

【今後の進め方】

- 計画を実施するにあたって下記事項に配慮しながら再編を進めます。
- 一時的な避難場所の確保
 - 避難（緊急避難や避難所生活）の考え方の普及啓発
 - 旧笹山小学校への交通アクセス（道路環境）



凡例 ● 存続 ★ 民間活用 ▲ 解体